

2025 年 12 月 4 日

受講生の皆様

京都大学 学術情報メディアセンター 緒方広明

「京都大学緒方研究室 学習支援システム LEAF 実証研究」へのご協力をお願い

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

当研究室では、教育ビッグデータ収集・分析基盤システム LEAF（Learning, Evidence and Analysis Framework）を構築し、学習者や教師の活動支援や教育・学習の改善を行うことを目的とした研究を進めています。

具体的には、（１）授業内外において、Avery Analytics（英作文支援システム）の活用を依頼しております。また、（２）システムに収集されるログデータやアンケートなどを匿名化して保存した上で分析し、学習分析の研究、学習分析ツールの開発および効果検証を実施いたします。（１）については各授業の担当教員の判断のもと活用いただきますが、（２）については受講者の皆様の同意の上での参加となります。

この度は、下記のとおり本実証研究へのご協力を賜りたく、お願い申し上げます。実証にあたっては、受講者の皆様のプライバシーに配慮し実施いたしますので、ご検討のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

1. 本実証研究の対象、期間

2025 年度 アントレプレナーシップ入門：授業内外の活動

2. 本実証研究の概要

Avery Analytics が、受講生の英作文に与える影響、およびシステムの効果を明らかにします。

3. 想定される具体的な実証内容

本実証では、（１）と（２）について、受講生の Avery Analytics 上の英作文を基に、フィードバックを提供します。

また、本授業でのアンケートや Avery Analytics 上の操作ログなどのデータも分析します。

受講生の皆様には、授業を受講する以外の追加の負担はありません。受講生の皆様から収集したログは、実験者に提示される際にはアカウント名が表示されますが、分析と論文として公表される際には匿名化されます。実証に先立ち、受講生の皆様には研究内容の説明（本書面の内容）と研究協力への同意アンケートを実施させていただきます。

不同意の受講者のログは、論文化の際に分析から除外されます。

つきましては、趣旨をご理解の上、皆さまのご協力を賜り、別添の同意書の提出をお願い申し上げます。

敬具